

高知県立伊野商業高等学校

和紙研究会（商業技術部内 和紙部）

高校生ボランティア・アワード2019

「土佐和紙について考える」

活動概要

和紙研究会は、高知県立伊野商業高等学校キャリアビジネス科の生徒で構成されています。

検定合格と商品開発を二大目標とする、「商業技術部」内のプロジェクトチームです。

現在は、高校の地元である、高知県のいの町の伝統工芸品であり、特産品の「土佐和紙」に関する様々な活動を行っています。

実際の製作現場にお邪魔したり、学校にお招きして紙漉きを指導していただいたり、土佐和紙を使った新たな商品開発をしたりといった活動をしています。

毎年、地元の和紙職人である尾崎さん、いの町商店街さんとのコラボレーションとして、和紙で作ったこいのぼりを商店街に飾り付けています。

それらの成果を高知県立図書館で展示しました。また、高知県で開催された「国際教育研究大会」では、土佐和紙で作ったちぎり絵メッセージや、ティッシュケースを参加者の皆さんにプレゼントをさせていただきました。

これまでの活動内容をまとめ、「風に立つライオン基金主催 高校生ボランティアアワード2017」に応募し、さいたまスーパーアリーナでの会場発表に参加しました。

昨年度の「ボランティアアワード2018」は、残念ながら予定が合わず、ポスターでの参加となりました。

しかし、昨年度も「いの町わしの未来会」「四国環境パートナーシップオフィスさん」のイベントや、「JR四国観光トロッコ列車」とのコラボレーションなど、土佐和紙を仲立ちとして、様々なイベント・発表会に年間を通じて精力的に参加し続けています。



「土佐和紙を世界遺産に！」

活動の目的・志など

2009年、2013年、日本の伝統工芸「和紙」が世界遺産（無形文化遺産）として登録されました。しかし、私たちの高校がある、いの町の特産品であり、千年以上の伝統を持つ「土佐和紙」は、世界遺産には含まれていませんでした。

ルーブル美術館所蔵品の修理に用いられるなど世界にその名をとどろかせている土佐和紙なのに・・・

「なぜ、土佐和紙は選ばれなかったのか？」

私たちの活動はこの疑問から始まりました。調べていくうちに、選ばれなかったのは、伝統工芸産業として連綿と維持するための後継者がいないこと、そして土佐和紙の魅力について発信力が足りなかったことが、その原因ではないかと考えました。

そこで、まずは私たち地元の高校生が、地域の宝である土佐和紙の魅力を知ることから活動を始めました。



「土佐和紙で地元を再発見する！」

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

平成30年度も、土佐和紙の魅力伝える活動に積極的に取り組みました。

「こどもが運営するまち『とさっ子タウン』」では、平成30年度もワークショップの講師を務めました。小学生に土佐和紙の楽しさを伝えることができました。

「ものづくり総合技術展」では、ブース展示を行い、土佐和紙でできたウェディングドレスを見ていただきました。

いの町商工会さんとのコラボレーションである、「kami祭」では、土佐和紙発祥の地にふさわしい「紙投げ」の投げ役を務めさせていただきました。

高松市での「高校生環境活動発表大会 四国ブロック予選」では、高知県唯一の参加校として、土佐和紙をアピールしました。

観光トロッコ列車を利用される観光客さんをおもてなしするための準備、韓国の高校生をおもてなしするための準備も、着々と進めています。



「土佐和紙のすごさをもっと知ってもらうために！」

今後の展望・夢など

今年は、上にあげている今までの活動を維持し、深化していくことを続けていきます。

加えて、来年度に「全国高校文化祭」が高知県で実施される関係で、今年の夏、韓国の高校生の皆さんが高知を訪れます。その際、わたしたちは一緒に土佐和紙を漉くことを通じて、交流する予定になっています。

また、四国環境パートナーシップ（四国EPO）さんと連携し、土佐和紙を知ることや、いの町の恵まれた自然環境を調べることや、維持することについてもみんなで考えていきたいです。

そして、徳島県で開催される「エシカル甲子園」に参加したいと考えています。

これらの活動を積極的に行い、地域に少しでも貢献することで、いの町の良さをもっと知ってもらいたい。いの町をもっともっと自慢してもらいたい。そして、わたしたち伊野商業高校を認めてもらいたいと思います。この活動を通じて、わたしたち自身も地域と自分の未来を思い描き、それぞれの夢を実現していきたいと考えています。

韓国の高校生おもてなし	7月22日
とさっ子タウンでのワークショップ	8月14日～18日
高知県ものづくり総合技術展	11月10日
kami祭での「紙投げ」	11月23日
エシカル甲子園（応募中）	12月26日・27日（参加できるかは未定。これは本選の日程です。）
etc・・・	



活動団体プロフィール

私たちは、和紙研究会（和紙部）です。

高知県立伊野商業高校の商業技術部内プロジェクトチームとして、高校が所在するいの地域の伝統工芸品であり、千年以上の伝統を持つ土佐和紙について知ること、地元の職人さんに教えていただきながら土佐和紙を実際に漉く活動や、商品開発を通じて広く外部に発信する活動などを行っています。

この活動で得たつながりや、気づきを、自分たちの進路に生かしていきたいと考えています。

活動を担当・指導してくださる先生方も、商業科の吉川（中村）佳子先生や、普通科の上岡大次郎先生など、多彩な顔ぶれです。